
日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2007 年度 NO.3(臨時号)

目次

- ・平成 19 年度高良記念研究助成対象者決定
- ・理事会報告
- ・新入会員リスト、退会リスト
- ・企画研究委員会報告
- ・事務局便り

平成 19 年度高良記念研究助成対象者決定

日本インターンシップ学会では、インターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進を図るため、平成 19 年度から「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行うことになりました。この制度は、高良和武名誉会長から学会へ寄付頂いた基金をもとに、本学会の研究助成事業として開始するものです。

記念すべき第 1 回目となる平成 19 年度研究助成につきましては、8 件の応募があり、審査委員会による厳正なる審査を経て、以下の 2 件に対し各 10 万円の研究助成を行うことを理事会において決定いたしました(順不同、敬称略)。

・江口彰 (北海道大学大学院生)

「外部組織に一時的に所属するインターンシップと、外から外部組織に関わる新たな取り組みとの比較」

・長尾博暢 (追手門学院大学)

「大学におけるインターンシップの教学的正統性—正課科目・単位認定の経緯と論理をめぐって—」

研究助成対象者には、次年度の学会大会において研究成果の発表が求められております。どのような研究成果を披露いただけるのか、大いに期待したいところです。

なお、平成 20 年度も研究助成を募集いたします(募集は、4-6 月頃と、早めになります)。一つ、応募の際に気をつけて頂きたいのは、「物品費+謝金の合計が、申請金額全体の 1/2 まで」という点です。ぜひお守りを。詳細につきましては、後日、ニュースレターや学会ウェブサイトをj使って会員の皆様にお知らせいたします。

(高良記念研究助成審査委員長 那須幸雄)

企画研究委員会報告

2007 年度第 2 回研究会開催報告

2007 年度第 2 回研究会は、関西支部との共催で、2007 年 12 月 15 日(土)に関西学院大学梅田キャンパスにて開催されました。今回は「工業高等専門学校におけるインターンシップ、キャリア教育」と題し、加藤敏明関西支部長による趣旨説明の後、先ず経済産業省産業技術環境局大学連携推進課の二村森氏より「人材育成と産学連携」と題して基調講演をいただきました。

二村氏は、インターンシップの実施期間の短縮化に警鐘を鳴らした「インターンシップは形骸化?」というニュースから話を切り出され、企業の人材投資は景気に作用され、かつ減少傾向にあること、団塊の世代が定年期を迎える時を迎えて暗黙知化している技術・ノウハウを形式知化する必要性等に言及されました。次いで、グローバルな競争時代にあって、専門分野の知識をしっかりと身に付けて欲しいという産業界のニーズと教育界が注力している点が必ずしも合致していないと指摘、産学がそれぞれもつ課題を抽出できる「産学が連携した効果的なシステム」を確立する必要があると強調されました。

その後、事例報告に移り、徳山工業高等専門学校(田村隆弘准教授)、熊本電波工業高等専門学校(松本勉教授)、阿南工業高等専門学校(奥本良博准教授)から、それぞれの取り組みについて報告を受けました。

徳山工業高等専門学校の田村准教授からは、現代GPに採択された「自主自立誘導型キャリア教育」の事例報告と同校におけるインターンシップの概要が紹介されました。特に、感性・表現力育成、社会性育成、巣立ちの準備支援の3つからなるキャリア育成プログラムと学生が参加する各プログラムがそれぞれマイル数で換算・登録でき(15 マイルで1 キャリア単位)、キャリア活動の

履歴がWEBで確認できるシステムが印象的でした。

熊本電波工業高専門学校の松本教授からは、日本語・英語のコミュニケーション能力を持ち国際的に活躍できる技術者の育成を目指した海外研修キャリア教育の取組みが紹介されました。同校は、シンガポールのポリテクニックと包括交流協定を締結していますが、今般は、電子制御工学科 4 年次で行っている海外教育研修旅行（2007 年度 41 名参加）の教育プログラムについて報告がありました。2007 年度は、英語研修を加えた 2 週間の研修旅行でしたが、学生の印象に残ったプログラムとして①現地での特別講演、②現地学生との交流、③シンガポールでのオリエンテーリング、④自由研修などが紹介されました。また、学生は、積極性やコミュニケーションの必要性を感じたようです。

阿南工業高等専門学校の奥本准教授からは、現代GPに採択された「教育課程早期からの職業指導推進プログラム(ACE)」について報告されました。ACEは、「中途退学の学生を減らしたい」、「就職先ですぐ辞めないで幸せな人生を歩んでほしい」という職業指導の充実を願って始められたプログラムで、①低学年のホームルームでの職業指導、②キャリア教育支援室の新設、③企業訪問・フォーラム開催等を通じての教員のスキルアップを図るという3つの柱から構成されています。こうした職業指導と同校が実施するものづくりエリート技術者養成コーオププロジェクトが一体となって推進されている取り組みが印象的でした。

なお、当日は、関西支部を中心とした会員の皆様に、会場があふれるほどのご参加をいただき、盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただきました会員の皆様には、厚くお礼申し上げます。

2007 年度第 3 回研究会開催予定

2007 年度はあと 1 回、3 月に研究会を開催いたします。振るってのご参加をお願いいたします。

【日本インターンシップ学会第 3 回研究会】

日時：2008 年 3 月 22 日（土）13：30～17：00

（受付開始 13:10）

会場：筑波大学東京キャンパス G304 教室

（東京都文京区大塚 3-29-1）

テーマ：産学連携教育における企業の役割

パネリスト（以下、会員敬称略）：

坂田甲一氏（凸版印刷株式会社）

高橋保雄（橋本産業株式会社）

田中宣秀（元名古屋大学）

那須幸雄（文教大学）

モデレーター：亀野淳（北海道大学）

（企画研究委員会委員長 田中宣秀）

理事会・総会報告

2007 年度第 4 回理事会

2007 年度第 4 回理事会が、2007 年 12 月 15 日（土）に、関西学院大学梅田キャンパスにて開催されました。

（事務局）

2007-2008 年度役員について

2007-2008 年度の学会顧問が以下の通り決まりました。

（あいうえお順、敬称略）

●顧問

金田昌司、内藤洋介、渡辺三枝子

（事務局）

事務局便り

学会後援イベントのご案内

●「ICT ベンチャー・リーダー・プログラム」普及シンポジウム

～ICT ベンチャーのリーダーとなる人材育成のために～

日時：2008 年 3 月 24 日（月）14:00～16:00

会場：東海大学校友会館 阿蘇の間（東京都千代田区）

主催：総務省関東総合通信局、日本ベンチャー学会他

後援：日本インターンシップ学会 他

Website（関東総合通信局ホームページ）：

<http://www.kanto-bt.go.jp/ifa/press/p19/p2002/p200215.html>

●平成 19 年度インターンシップ支援セミナー

～インターンシップの取り組みと活用について～

日時：2008 年 3 月 3 日（月）13:30～16:00

会場：福岡ビル 9F、5 ホール（福岡市中央区）

主催：福岡県経営者協会

後援：福岡労働局、日本インターンシップ学会 他

問合せ先：福岡県経営者協会 TEL 092-715-0562

会員情報変更のお届けについて

所属・住所等が変わりましたら、速やかに事務局宛お届け下さい。連絡先が不明になりますと、年報やニュースレター、大会案内など、会員サービスが受けられなくなりますので、ご注意下さい。

会費納入のお願い

2007年度会費納入を受け付けております。未納の方は、すでにお手元にお送りいたしました郵便振替用紙か郵便局備え付けの普通払込書用紙をご利用になり、下記振込先までお送り下さいますようお願いいたします。なお、銀行振込でも受け付けております。

会費納入先

【郵便振替】口座番号 01760-9-118957
加入者名 日本インターンシップ学会
【銀行振込】福岡銀行箱崎支店 普通 2175253
(電信振込の場合は「ニホンインターンシップガッカイ」と入力下さい。)

日本インターンシップ学会 News Letter 2007.No.3(臨時号)

2008(平成20)年2月18日発行

発行 日本インターンシップ学会 会長 田村紀雄

編集 日本インターンシップ学会事務局 事務局長 吉本圭一

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学教育学部 教育社会学研究室内

電話 092-642-3125 FAX 092-642-4355 E-mail jsi-edu@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

Website <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsi/>